

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年10月15日
【四半期会計期間】	第25期第2四半期（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）
【会社名】	株式会社エスケイジャパン
【英訳名】	SK JAPAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 久保 敏志
【本店の所在の場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 川上 優
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 川上 優
【縦覧に供する場所】	株式会社エスケイジャパン東京営業所 （東京都台東区寿三丁目14番13号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）上記の東京営業所は、未登記につき法定の縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜を考慮して縦覧に供する場所としております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第24期 第2四半期 連結累計期間	第25期 第2四半期 連結累計期間	第24期
会計期間	自平成24年 3月1日 至平成24年 8月31日	自平成25年 3月1日 至平成25年 8月31日	自平成24年 3月1日 至平成25年 2月28日
売上高(千円)	4,361,743	3,279,751	8,278,640
経常利益又は経常損失() (千円)	159,823	116,195	149,314
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失() (千円)	69,418	114,251	117,457
四半期包括利益又は包括利益(千円)	66,863	114,910	126,737
純資産額(千円)	2,009,018	1,864,088	2,024,767
総資産額(千円)	4,284,402	3,666,637	3,580,916
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() (円)	8.44	13.89	14.28
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	14.26
自己資本比率(%)	46.3	49.9	55.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	89,430	104,693	118,824
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	362,452	3,290	347,044
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	250,855	749	151,423
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高(千円)	751,900	574,354	694,987

回次	第24期 第2四半期 連結会計期間	第25期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年 6月1日 至平成24年 8月31日	自平成25年 6月1日 至平成25年 8月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() (円)	9.79	6.76

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第24期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第25期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当社グループは平成25年2月をもってリテイル事業から撤退しており、同事業を営んでおりました連結子会社株式会社ナカヌキヤは、平成25年5月31日付をもって解散及び清算を決議し、現在清算手続中であります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,279百万円（前年同期比24.8%減）、営業損失は121百万円（前年同期は160百万円の営業利益）、経常損失は116百万円（前年同期は159百万円の経常利益）、四半期純損失は114百万円（前年同期は69百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

アミューズメント部門におきましては、多店舗展開している顧客へのマーケティングを強化した販売・企画体制の構築を進めております。商品面では、前期より引き続き好調であった「星のカービィ」及び第2四半期累計期間より商品化しヒットした「ひつじのショーン」等がありましたが、市場で人気のあるご当地キャラを中心とした「ゆるキャラ」のオリジナル商材を確保出来なかったこと等により、売上高は1,496百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

S P（セールスプロモーション）部門におきましては、第1四半期より好調であった製菓業界向けの販売促進商品に加え、世の中の健康ブームにのったムック本の販売が好調であったこと等により、売上高は418百万円（前年同期比40.2%増）となりました。

利益面では、固定費の見直し等経費削減に努めましたが、売上高の大幅な減少による影響を吸収できず、営業損失となりました。

以上の結果、売上高は1,914百万円（前年同期比20.2%減）、営業損失は130百万円（前年同期は102百万円の営業利益）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

当事業におきましては、スマートフォン向けアプリケーション等のゲームキャラクターが前年を大きく上回ったことに加え、「ゆるキャラ」の取り扱いの拡大や、トレーディングカードゲームの発売がありましたが、前年の「AKB48」関連グッズに替わる商材を確保することが出来ず、売上高は大幅に減少しました。

利益面では、売上高の減少に加え為替の影響、新基幹システム導入及び配送コスト上昇等による経費の増加により、営業損失となりました。

以上の結果、売上高は1,365百万円（前年同期比11.3%減）、営業損失は14百万円（前年同期は70百万円の営業利益）となりました。

<リテイル事業>

当社グループは平成25年2月をもってリテイル事業から撤退しており、同事業を営んでおりました連結子会社株式会社ナカヌキヤは、平成25年5月31日付をもって解散及び清算を決議し、現在清算手続中であります。

(2)財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて85百万円増加し、3,666百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少額120百万円により一部相殺されたものの、受取手形及び売掛金の増加額202百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて246百万円増加し、1,802百万円となりました。これは主に、買掛金の増加額182百万円及び短期借入金の増加額50百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて160百万円減少し、1,864百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少額163百万円によるものであります。

(3)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて120百万円減少し、574百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、104百万円（前年同期は89百万円の獲得）となりました。

これは主に、仕入債務の増加額219百万円があったこと等により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純損失115百万円、売上債権の増加額227百万円があったこと等を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、3百万円（前年同期は362百万円の使用）となりました。

これは主に、貸付金の回収による収入33百万円があったことにより相殺されたものの、有形固定資産の取得による支出21百万円及び無形固定資産の取得による支出13百万円（投資活動のキャッシュ・フロー「その他」）があったこと等を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、0百万円（前年同期は250百万円の獲得）となりました。

これは主に配当金の支払額49百万円あったことにより相殺されたものの、短期借入金の純増加額50百万円があったことを反映したものであります。

(4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,381,000
計	12,381,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,359,103	8,359,103	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	8,359,103	8,359,103	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

当第2四半期会計期間において発行した新株予約権は、次のとおりであります。

決議年月日	平成25年5月18日
新株予約権の数(個)	1,965
新株予約権のうち自己新株予約権の数(個)	-
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数(株)	196,500
新株予約権の行使時の払込金額(円)	328
新株予約権の行使期間	自 平成27年6月1日 至 平成29年2月28日
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円)	発行価格 328 資本組入額 164
新株予約権の行使の条件	権利行使時においても、当社または当社子会社の取締役、監査役及び従業員であることを要する。
新株予約権の譲渡に関する事項	譲渡、質入その他一切の処分をすることができない。 また、相続も認めない。
代用払込みに関する事項	-
組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項	-

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】
該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】
該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年6月1日 ~ 平成25年8月31日	-	8,359,103	-	440,948	-	471,887

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
久保 敏志	大阪市中央区	3,723,636	44.54
鈴木 康友	東京都墨田区	231,800	2.77
エスケイジャパン従業員持株会	大阪市中央区上町1-4-8	160,554	1.92
八百 博徳	大阪市中央区	142,743	1.70
株式会社エスケイジャパン	大阪市中央区上町1-4-8	133,920	1.60
株式会社異商店	大阪府寝屋川市東香里園町21-21	122,400	1.46
中村 英記	東京都台東区	82,221	0.98
ピーエヌピー パリバ セキュリ ティーズ サービス パリス ジャス デック ノー トリーティ (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	3 RUE D'ANTIN 75002 PARIS (東京都中央区日本橋3-11-1)	81,607	0.97
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	78,000	0.93
久保 三則	長崎県五島市	76,340	0.91
計	-	4,833,221	57.81

(7) 【議決権の状況】
【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 133,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,179,400	81,794	-
単元未満株式	普通株式 45,803	-	-
発行済株式総数	8,359,103	-	-
総株主の議決権	-	81,794	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が900株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数9個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社エスケイジャパン	大阪市中央区上町一丁目4番8号	133,900	-	133,900	1.60
計	-	133,900	-	133,900	1.60

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

なお、平成25年9月3日付で役員の異動があり、平成25年9月6日付で代表取締役の異動について臨時報告書を提出しております。

役員の異動

氏名 (生年月日)	新役職名	旧役職名	異動年月日
八百 博徳 (昭和36年9月30日生)	代表取締役専務	常務取締役	平成25年9月3日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	694,987	574,354
受取手形及び売掛金	1,000,741	1,203,613
電子記録債権	40,891	60,333
商品	358,765	383,045
繰延税金資産	21,194	29,331
その他	62,793	76,881
貸倒引当金	6,618	7,495
流動資産合計	2,172,756	2,320,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	531,341	516,195
減価償却累計額	177,310	170,035
建物及び構築物(純額)	354,031	346,159
車両運搬具	11,858	11,858
減価償却累計額	8,946	9,673
車両運搬具(純額)	2,912	2,184
その他	85,923	93,433
減価償却累計額	68,507	64,648
その他(純額)	17,416	28,784
土地	539,494	539,494
有形固定資産合計	913,853	916,623
無形固定資産	77,811	81,884
投資その他の資産		
投資有価証券	58,775	59,853
繰延税金資産	7,327	1,942
その他	359,553	295,002
貸倒引当金	9,162	8,734
投資その他の資産合計	416,493	348,064
固定資産合計	1,408,159	1,346,572
資産合計	3,580,916	3,666,637

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	597,536	779,786
短期借入金	600,000	650,000
未払法人税等	35,111	2,404
繰延税金負債	66	97
賞与引当金	34,141	33,539
その他	147,579	192,107
流動負債合計	1,414,435	1,657,936
固定負債		
繰延税金負債	4,280	3,589
役員退職慰労引当金	137,214	140,805
長期預り保証金	218	218
固定負債合計	141,713	144,612
負債合計	1,556,148	1,802,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,948	440,948
資本剰余金	471,887	471,887
利益剰余金	1,123,995	960,392
自己株式	51,203	51,220
株主資本合計	1,985,628	1,822,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,065	11,410
繰延ヘッジ損益	120	227
為替換算調整勘定	2,077	1,973
その他の包括利益累計額合計	9,867	9,209
新株予約権	29,271	32,871
純資産合計	2,024,767	1,864,088
負債純資産合計	3,580,916	3,666,637

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	4,361,743	3,279,751
売上原価	3,095,957	2,457,537
売上総利益	1,265,786	822,213
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	398,127	355,093
賞与引当金繰入額	45,749	33,539
退職給付費用	12,725	11,461
役員退職慰労引当金繰入額	3,590	3,590
貸倒引当金繰入額	4,997	891
その他	639,935	539,595
販売費及び一般管理費合計	1,105,126	944,170
営業利益又は営業損失()	160,660	121,956
営業外収益		
受取利息	162	57
受取配当金	1,273	754
受取家賃	1,440	2,701
為替差益	-	1,293
その他	5,942	3,597
営業外収益合計	8,818	8,402
営業外費用		
支払利息	2,791	2,508
為替差損	1,213	-
その他	5,650	132
営業外費用合計	9,655	2,641
経常利益又は経常損失()	159,823	116,195
特別利益		
新株予約権戻入益	96	772
特別利益合計	96	772
特別損失		
減損損失	¹ 29,427	-
特別退職金	² 37,201	-
特別損失合計	66,629	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	93,290	115,423
法人税、住民税及び事業税	14,540	1,194
法人税等調整額	9,331	2,365
法人税等合計	23,872	1,171
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	69,418	114,251
四半期純利益又は四半期純損失()	69,418	114,251

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	69,418	114,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,256	655
繰延ヘッジ損益	304	106
為替換算調整勘定	5	103
その他の包括利益合計	2,554	658
四半期包括利益	66,863	114,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,863	114,910
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	93,290	115,423
減損損失	29,427	-
賞与引当金の増減額(は減少)	8,267	602
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,504	3,590
貸倒引当金の増減額(は減少)	7	448
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,142	1,835
差入保証金の増減額(は増加)	902	30
受取利息及び受取配当金	1,436	811
支払利息	2,791	2,508
投資有価証券評価損益(は益)	4,255	1,189
売上債権の増減額(は増加)	647,796	227,201
たな卸資産の増減額(は増加)	75,191	24,184
仕入債務の増減額(は減少)	622,084	219,463
その他	88,839	51,786
小計	123,788	93,420
利息及び配当金の受取額	1,462	833
利息の支払額	2,827	2,535
法人税等の支払額	33,228	32,429
法人税等の還付額	235	22,858
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,430	104,693
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	315,627	21,540
貸付金の回収による収入	-	33,693
その他	46,824	15,442
投資活動によるキャッシュ・フロー	362,452	3,290
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	300,000	50,000
自己株式の取得による支出	3	16
配当金の支払額	49,141	49,233
財務活動によるキャッシュ・フロー	250,855	749
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,893	360
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	24,060	107,594
現金及び現金同等物の期首残高	775,960	694,987
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	13,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	751,900	574,354

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より清算手続中の株式会社ナカヌキヤは、重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 減損損失

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(1) 減損損失を計上した資産グループの概要

用途及び場所	種類	金額
店舗 大阪市中央区	建物及び構築物	27,335千円
広島市中区	工具、器具及び備品	801千円
広島市南区	[有形固定資産 (その他)]	
広島県呉市	長期前払費用	1,291千円
愛媛県松山市	[投資その他の資産 (その他)]	
兵庫県尼崎市		
合計		29,427千円

(2) 減損損失の計上に至った経緯

収益性が低下し、事業整理の方針となったりテイル事業に係る店舗資産について、その帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローが見込めないため、零としております。

(3) 資産のグルーピングの方法

キャッシュ・フローを生み出す最小単位として、キャラクターエンタテインメント事業及びキャラクター・ファンシー事業については事業全体を、リテイル事業については店舗をそれぞれ基本単位としており、遊休資産については個々の物件ごとに、減損損失の認識の判定及び測定を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

該当事項はありません。

2 特別退職金

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

特別退職金は、リテイル事業の整理に伴う早期退職制度実施による特別割増退職金であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び預金勘定	751,900千円	574,354千円
現金及び現金同等物	751,900	574,354

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月19日 定時株主総会	普通株式	49,351	6	平成24年2月29日	平成24年5月21日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月12日 取締役会	普通株式	49,351	6	平成24年8月31日	平成24年11月16日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月18日 定時株主総会	普通株式	49,351	6	平成25年2月28日	平成25年5月20日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月11日 取締役会	普通株式	49,351	6	平成25年8月31日	平成25年11月15日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	リテイル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,399,683	1,539,182	422,878	4,361,743	-	4,361,743
セグメント間の 内部売上高又は振替高	311,253	149,640	-	460,894	(460,894)	-
計	2,710,937	1,688,822	422,878	4,822,638	(460,894)	4,361,743
セグメント利益 又は損失()	102,715	70,428	24,162	148,982	11,677	160,660

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額11,677千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リテイル事業」セグメントにおいて、収益性が低下し、事業整理の方針となったことにより店舗資産について、その帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、29,427千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,914,599	1,365,152	3,279,751	-	3,279,751
セグメント間の 内部売上高又は振替高	72,870	50,748	123,619	(123,619)	-
計	1,987,469	1,415,901	3,403,371	(123,619)	3,279,751
セグメント損失()	130,006	14,159	144,166	22,209	121,956

(注)1. セグメント損失の調整額22,209千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

3. 当社グループは平成25年2月をもってリテイル事業から撤退しており、同事業を営んでおりました連結子会社株式会社ナカヌキヤは、平成25年5月31日付をもって解散及び清算を決議し、現在清算手続中でありませ

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)
前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(有価証券関係)
前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)
前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(1株当たり情報)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	8円44銭	13円89銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	69,418	114,251
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	69,418	114,251
普通株式の期中平均株式数(株)	8,225,251	8,225,187
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも の概要	-	-

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。また、当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・49,351千円
- (ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・6円
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・平成25年11月15日

(注) 平成25年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月10日

株式会社エスケージャパン

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 紳太郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秦 一二三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスケージャパンの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスケージャパン及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。